

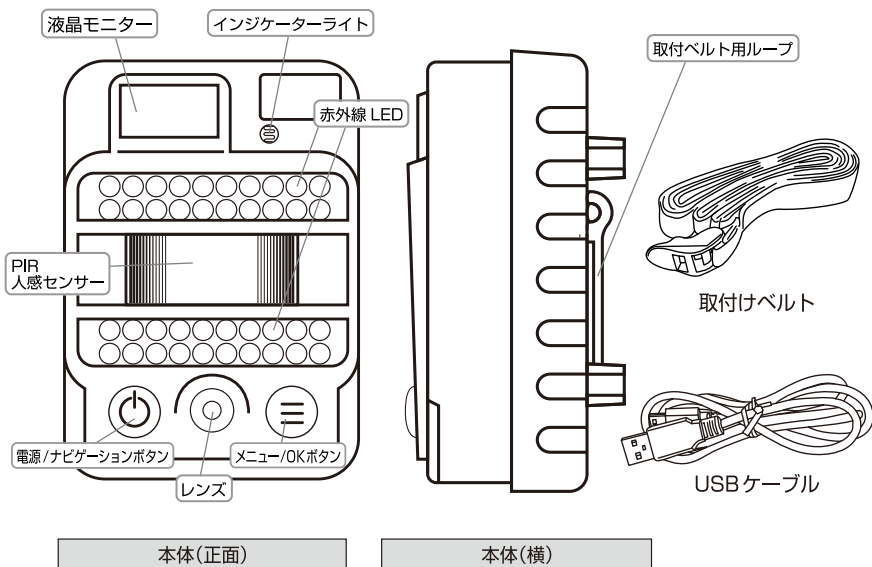
TL-5900DTK

ラディアントミニ Radiant Mini

付属品

本体・USB ケーブル・取付けベルト・本書(取扱説明書・保証書)

単三乾電池 4 本、もしくは外部給電装置 microSDHC カード(各別売)が無いと動作しません。

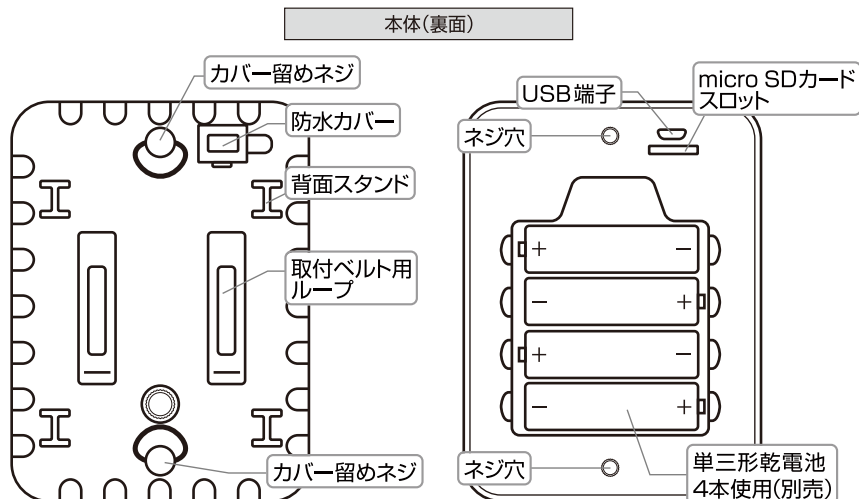


※本機は赤外線 LED は不可視タイプのため、発光しても肉眼ではほとんど見えませんが、スマートフォンのカメラモードやデジカメの液晶画面で確認できます。

▲ ご注意

- 製品の取付けは設置場所をよく確認し確実に行ってください。設置に不備があると、落下などの恐れがあります。
- 分解、改造は絶対にしないでください。加熱、故障等の原因になります。
- 必ず本製品付属のコードをお使いください。他製品を使った場合、故障・火災・感電などの原因になります。
- 赤外線ライト照射時、被写体とカメラの距離が近すぎると被写体全体が白く写る場合があります。赤外線ライトは目に見えません。また赤外線撮影はモノクロになります。
- 本体を動かすとカタカタと音がしますが、これは可動式の赤外線レンズフィルタが動くためです。異常ではありません。ただし強く振ると故障するおそれがありますのでおやめください。

各部名称

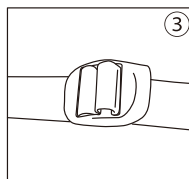
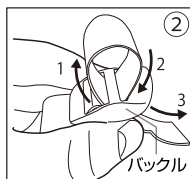
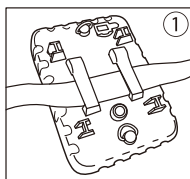


バックカバー装着状態(裏面)

バックカバーを外した状態(裏面)

固定ベルト取り付け

- ①裏面取付ベルトループへベルトを通す。
- ②ベルトのバックルの中心下から端へ通す。
- ③ベルトは良く張り、ゆるみの無いように装着します。



ご使用になる前に

単三乾電池×4本、micro microSDHCカードのセット

※単三乾電池4本と外部給電での動作が可能です。

P5



micro SDHCカードは最大32GBまで対応しています。
※SDカードは消耗品です。
3ヶ月毎にフォーマットしてください。

PC との接続

- ①電源オフのまま付属のUSBケーブルをUSB端子に接続し、もう片方を起動したPCのUSBポートに差し込み、電源ボタンを長押しすると、Waitingの後に[DC]と[PC]の選択が出ます。
- ②電源ボタンで[DC]を選択し、メニューボタンで決定すると、そのままPCからの給電で使用できます。
- ③[PC]を選択すると、デスクトップに「リムーバブル」として認識され、microSDHCカードに記録した各動画・写真を移動・コピー・削除ができます。

外部給電機器の接続

乾電池が入っていない場合、モバイルバッテリー・ACアダプターなどでの稼働

- ①電源オフのまま付属のUSBケーブルをUSB端子に接続し、もう片方を外部給電機器のUSBポートに接続して電源ボタンを長押しすると、Waitingの後に「DC」と「PC」の選択が出ます。
- ②電源ボタンで「DC」を選択し、メニューボタンで決定すると、そのまま外部給電機器からの給電で使用できます。

ディスプレイ表示

ディスプレイには、撮影時の設定に役立つ、様々な情報が表示されます。

写真モード PICTURE

ビデオモード VIDEO

写真+ビデオモード PIC+VIDEO

写真のファイル
残数

時計

写真のファイル
残数

時計

写真+ビデオの
ファイル残数

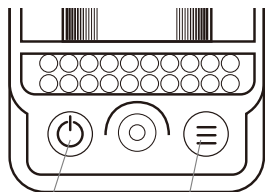
時計

写真
解像度

ビデオ
解像度



撮影方法



電源/ナビゲーションボタン

メニュー/OKボタン

撮影時は画面やライトは
全て消灯します。

1. バックカバーを開いて microSD カードと単三乾電池 4本をセットします。
2. 電源ボタンを 5 秒長押しして、インジケータがゆっくり5回点滅した後、カメラは人感センサー録画でそのまま撮影に入ります。
3. インジケータが 5 回点滅中にメニューボタンを押すと、設定 (TEST) モードになりそのままカメラの設定が出来ます。設定後にメニューボタン長押しでもインジケータがゆっくり 5 回点滅後、そのまま撮影します。
4. 撮影中にメニューボタンを一度押しすと約 30 秒で待機モードへ、そのまま電源ボタンを長押しするとインジケータが早い点滅後電源オフになります。

再生方法

撮影した映像・画像の再生方法。

microSD カードを PC で再生

PC で再生

[microSD カード]

- ①電源オフのまま本体下のSDカードスロット内のカードを押しはずし、そのまま PC に接続したカードリーダーへセットする。
- ②PC上では「リムーバブルディスク」として本製品が認識され、microSDHC メモリーカードに記録した各動画・写真を移動・コピー・削除ができます。



[USB ケーブル]

- ①電池がセットされた状態で電源オフのまま本体下の USB 端子に USB ケーブルを接続し、もう片方を PC の USB ポートに差し込みます。
- ②本体の液晶画面に「MSDC」と表示されるまで待ちます。PC では「リムーバブルディスク」として本製品が認識され、microSDHC メモリーカードに記録した各動画・写真を移動・コピー・削除ができます。

セットアップ、電源オン

乾電池 本体セットアップ 外部給電

カチッと固定音がするまで
microSDカードをセットします。

カメラ裏のカバー留めネジを
外します。

P5-4

USB ケーブルを給電できる
状態で本体へつなぐ。

P5-3

本体に乾電池を
4本をセット。

P5-2

電源ボタン長押し後 DCを
選択する。

電源ボタン長押しで電源をオンへ。

P5-5

電源オンでインジケータが5回点滅後
そのまま撮影に入ります。(モニターオフ)

インジケータが点滅中もしくは、
モニターオフになってからでも
メニューボタンを1回押しと待機画面へ戻る。

モニターが
付かない

はい

乾電池

■乾電池の向きを再確認
してセットし直します。

P5-2

外部給電

■USB がきちんと差し
込まれているか確認。

P5-3

設定(TEST)モード

設定(TEST)モード



SDカード未挿入

待機モードへ

No Memory Card
の表示設定ホームで
時計が動いている状態

■microSD カード
が入っていない

P5-4

「MENU」ボタンを
押して、メニュー
を表示します。

CAMERA ID
(Name Of Camera)

ⓄNext ⓄSet

他のメニュー項目設定を行います。

P9

「設定メニュー項目」をご参照ください。

メニュー「EXIT」から待機モードへ

メニューボタン長押し3秒

センサー撮影開始
モニターオフ

- ・microSDカードをフォーマット
します。
- ・他社製の microSD カードに交換
します。(相性の可能性があります)
- ・新品の microSD カードに
交換します。

P8-microSDカードの注意

センサー録画、再生、削除

センサー録画

再生

電源オン、電源ランプがゆっくり5回点滅後、消灯でセンサー録画開始。

付属のベルトで固定する。 **P1**

付属の固定ベルトで木などに固定、被写体より5m以上離します。

センサーに反応しないと撮影しません。再生ファイルが無い場合、カメラ周辺に動きが無かった事が考えられます。

USBケーブルでカメラとPCをつなぐ。

microSD カードをPCへつなぐ。 **P5**

動画の再生ができる **P6-8**

いいえ **P8**

はい

再生動画に被写体が映っている

いいえ **P7-P8**

はい

他社製の microSD カードに交換。
新品の microSD カードに交換。
センサーに反応しないと撮影しません。
再生ファイルが無い場合、カメラ周辺に動きが無かった事が考えられます。



メニュー内「MEMORY Delete&Format」から写真や動画の削除ができる

1. **One**
2. All
3. Format
4. Exit

写真や動画の削除ができる **P6-8**

いいえ **P8**

はい

再び録画を開始して、確認作業を行う。

1日 15秒動画を
10本撮影で107日間
可動出来ず(昼夜撮影)

トラブル	対応
タイムラプス撮影が撮れない	本機のタイムラプス撮影は、静止画設定での撮影となります。設定内容で複数のファイルが生成されるので、PC上のソフト(ムービーメーカー等)で画像を作成して確認してください。
設定途中で画面が消えてしまう	乾電池の容量が足りなくなったり、ボタンに触らずに1分以上の放置でオートパワーオフになります。
すぐに電池が無くなる	「メニュー TIMER ~ WorkingRange」で、時間帯を絞ることで無駄を省くことができます。例えば夜間のみ(18 ~ 24時まで撮影)など。

夜間、赤外線を使用した撮影頻度が多い場合は電池容量を大きく消耗し、必要電力不足により撮影機能に障害が発生する事があります。アルカリ乾電池の特性として昼間には電池容量が戻ります。このような症状は乾電池の特性に由来する不具合の為、あらかじめ夜間撮影で多く使用する場合には、電池をリチウム乾電池※のタイプにするか、ACアダプタ駆動が可能な製品につきましては給電しながらの撮影をおすすめいたします。
※パナソニックリチウム乾電池 FR6HJ/4B (-40℃ ~ 60℃)などのリチウム乾電池ご使用を推奨いたします。
※eneloop(エネループ)はパナソニックグループの登録商標です。

1 背面カバーの 取外し



①
カバー留めネジ
を回して、バック
カバーを外す。



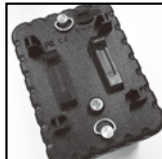
②
カバーが外れ、
電池ケースを確認。

＋と－に注意して入れます。

2 電池(別売)の セット

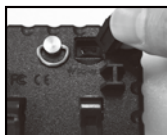


①
単三乾電池を入
れます。電池は4
本使用します。



②
バックカバーを装
着します。ご使用時
ネジはしっかりと締
めてください。水や
塵の侵入の原因に
なります。

3 USB接続での 外部給電使用 (PCの場合)



① 裏面右上のシリコンカバーを
外すと、USB 端子を確認。



② 付属のUSBケーブルで
カメラとPCをつなぎます。



外部給電での使用は
乾電池が入っていないなくても
使用できます。

4 microSDHCカード(別売)のセット

※microSD カードを
セットしないと撮影
機能が使えません。



※microSDHC カードは32GB まで対応

カードの
向きに注意!



「カチッ」と手応えが
あるまで押し込みます。

※microSDHC カード
(別売)の容量は 32GB
推奨。

P10

① 金属端子面を上にして差し込みます。

② 爪の先で手ごたえを感じるまで、挿入してください。

⚠ご注意ください 本製品の冬季ご利用にはリチウム乾電池(-40℃~60℃)のご使用をおすすめいたします。

アルカリ乾電池の特性(適正使用温度5℃~45℃)として低温環境での出力は低下します。低温時で多く使用する場合には、**低温対応の電池**※をご使用ください。また、そこに夜間での赤外線照射などによる電力の要求も増加するため、必要電力不足により撮影機能に障害が発生する事があります。このような症状は乾電池の特性に由来する不具合の為、あらかじめ低温時で多く使用する場合には、電池を低温対応[®]のタイプにするか、ACアダプタ駆動が可能な製品につきましては給電しながらの撮影をおすすめいたします。

※パナソニックリチウム乾電池 FR6HJ/4B (-40℃~60℃)などの低温対応品のリチウム乾電池ご使用を推奨いたします。

・エネルギープロ等のハイエンドモデルは外形がわずかに大きくプラス端子がやや短いので物理的不具合が懸念される為、非推奨いたします。

・「eneloop(エネループ)」はパナソニックグループの登録商標です。

トラブル	対応
microSD カード未装着のエラー	microSD カードをセットしているのに「No Memory Card」と表示される場合、microSD カードとカメラの相性が悪い、またはカードが壊れている可能性があります。一度、別のカードに替えてご確認ください。

P7-microSD カードの注意

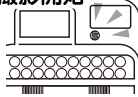
5 電源オン (センサー録画)

※電源スイッチオンのみで
センサー撮影します

電源/ナビゲーションボタン

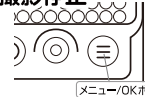
電源ボタンを5秒以上
長押しします。

撮影開始



通電ランプがゆっくり
5 回点滅→消灯後にそのまま
撮影に入ります。【モニターオフ】

撮影停止



メニューボタンを1回押すと
インジケータが点灯し「waiting」の
表示後、30 秒程で待機モードへ

6 設定から撮影



- ① 待機モードで設定をした後に電源ボタンを押すと設定確認用のテストモード撮影ができます。



- ② 設定モードで各種設定をします。

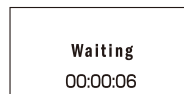
P9



- ⑤ テストモード中に電源ボタンを押すと待機モードへ戻ります。



- ③ Next で EXIT から待機モードへ戻ります。



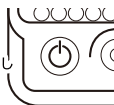
- ④ 待機モード時に電源ボタンを1回押すと、Waiting とカウントアップが始まり、テストモードでの撮影が始まります。

7 電源オフ

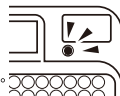


- ① 撮影中にメニューボタンを一度押すと約30秒で待機モードへ戻ります。

- ② 電源ボタンを5秒以上長押しします。



- ③ インジケータが早い点滅後電源オフになります。



トラブル	対応
設定できていない	設定 (TEST) モードに入って項目を選び、最後に「EXIT ボタン」で待機画面へ microSD カードが劣化している可能性があります。microSD カードは3ヶ月ごとにフォーマットしてください。 microSD カードとカメラの相性が悪い可能性があります。他社製のカードに交換してください。
設定画面にならない	既に録画を行っている為、切り替えができません。一度電源を切り、再度電源を入れてやり直してください。
ロック画面で何もできない	microSD カードをセットしてください。microSD カードが入っていないとパスワードを入力できません。

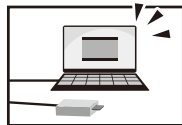
8 再生 削除

microSD を PC で確認

microSDHC 32GB

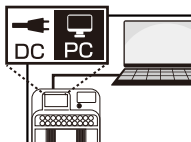


- ① microSDHC カードを抜く。



- ② PC へ microSD カードリーダー等で接続し、リムーバブルディスクとしてファイルの再生・削除などができます。

カメラと PC を USB ケーブルで接続して確認



- ① 付属の USB ケーブルを本機と PC へ接続し、カメラのメニューから PC を選択する



- ② MSDC の表示で PC に接続し、リムーバブルディスクとして再生・削除などができます。

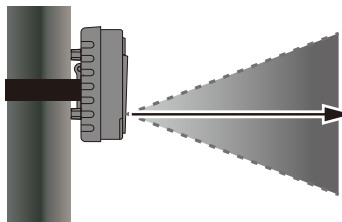
※メニューボタン「Pc cam」モードでウェブカメラとして使用もできます。汎用ツールでお試しいください。(サポート外)

トラブル	対応
録画されていない	カメラは被写体から5m以上離して設置してください。
画面が真っ白 (夜間撮影時)	ガラス面越しの撮影は赤外線が反射するので撮影できません。センサーも反応しません。 カメラに近いところに物を置かない。赤外線が反射して画面が白くなります。
再生ファイルが無い	microSD カードがセットされていなかったか、microSD カードの相性や不良の可能性があります。
録音されていない	microSD カードの相性や不良の可能性があります。
削除できない	microSD カードの相性や不良の可能性があります。

P7-microSD カードの注意

撮影エリア、赤外線照射距離、人感センサー(PIR)検知範囲

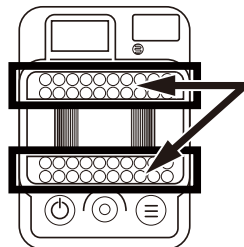
撮影エリア



カメラ視野角
水平約 49°
垂直約 29°

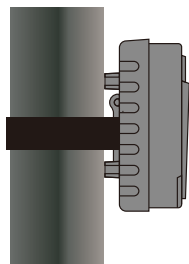
距離	3m	5m	10m	15m	20m
視野角					
水平	2.7m	4.6m	9.1m	13.7m	18.2m
垂直	1.6m	2.6m	5.2m	7.8m	10.3m

赤外線範囲(照射距離)



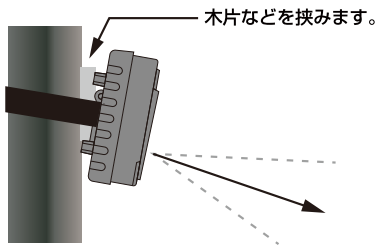
距離	3m
照射範囲	
水平	2.8m
垂直	2.8m

拡大図



ポール、円柱、柱などに付属のベルトで縛ります。

設置方法とワンポイント



木片などを挟みます。

設置場所により、本体を撮影したい角度に傾け、木片などを挟んで角度を調整しベルトで固定します。

ガラス越し撮



赤外線がガラスで反
ライトおよび PIR セ
車内などからの

の目安（設置環境、障害物により変わります）

不可視赤外線タイプ
肉眼で見えることはできません。

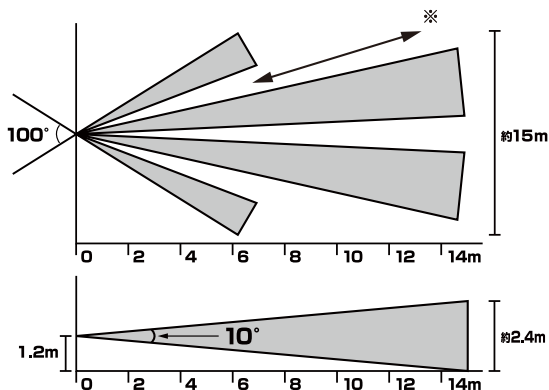
最大照射距離
：最大約 10m

5m	10m
4.7m	9.3m
4.7m	9.3m

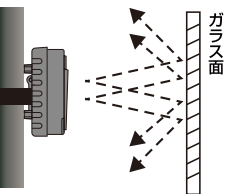
人感センサー(PIR)検知範囲



※構造上、横切る動きは検知しやすいですが、縦の動きは検知されない場合がございます。



影はできません



射してしまうため、赤外線センサーが機能しません。

撮影はできません。

SDカードのご注意



10 =Class10

SDカードには寿命や相性があります。

- 録画できていない
- ファイルを削除できない
- PCに挿してもフォーマットできない

このような場合は

- 本製品に使用するSDカードは高品質な Speed Class10 以上をお薦めします。
 - SDカードの対応メーカーについてはホームページでご確認ください。(http://www.glanshield.com)
- ※すべてのSDカードの動作保証をするものではありません。

設定(TEST)モードについて

テスト撮影や撮影映像の画角確認、各種設定ができます。

本機操作・設定は Waiting 表示後メニューボタンを押し、設定メニュー項目から設定を完了してください。設定後電源ボタンを押すと設定した作業モードに入ります。(作業モード中は waiting が表示され、時間をカウントします) もう一度電源ボタンを押すと作業モードから待機モードへ戻るので、設定のやり直しをすることができます。

待機モード
画面 ▶▶▶



設定モード
画面 ▶▶▶



設定メニュー項目 ※作業モードでは選べない項目があります。

CAMERA ID	英数字 4 桁でカメラの ID を設定	
PICTURE	静止画撮影 / 詳細設定は SETTING から	
VIDEO	動画撮影 / 詳細設定は SETTING から	
PIC+VIDEO	動画と静止画の同時撮影	
SETTING	PICTURE ←	
	PIC PIXEL ——— 静止画のサイズ設定 (8M) (5M) (2M)	
	BURST ——— トリガー静止画枚数	
	BACK ——— もどる	
	VIDEO	
	VIDEO LENGTH — 動画の撮影時間 (5 秒 ~ 60 秒)	
	FLAME ——— 動画のフレーム数	
	BACK ——— もどる	
	TIMER	タイマー設定 (設定時間内のみでの撮影)
	TIMELAPSE	タイムラプス (5 秒 ~ 24 時間)
	DELAY	センサー録画開始までの時間オン (時間設定 5 秒 ~ 24 時間) ・オフ
	SURVEILLANCE	上書き録画 / オン・オフ
	BEEP	操作音の / オン・オフ
SENSITIVITY	センサー録画感度 / High ・ Middle ・ Low	
SYSTEM TIME	日時設定 (非表示不可)	
PASSWORD	カメラパスワード設定	
RESET	工場出荷時設定へリセット	
BACK	もどる	
MEMOR	動画と静止画の同時撮影	
EXIT	待機モードへもどる	

TIMELAPSE / タイムラプス撮影・インターバル動画

同じ場所で一定の間隔を空けて撮影した静止画をつなぎ合わせてバラバラ漫画のような映像を作る手法です。本機のタイムラプス機能は静止画を設定した間隔で複数枚撮影します。それを PC のムービーメーカー等で撮り込んでタイムラプス動画を生成することができます。

TIMER / タイマー設定

あらかじめ設定された開始時間と終了時間の間のみ動作します。それ以外の時間では撮影されないで、電池の節電効果もあります。

製品仕様

■トレイルカメラ「Radiant Mini」製品仕様

色	カムフラージュグリーン
イメージセンサー	1/4"CMOS 100万画素
動画解像度(ピクセル)	1280×720、640×480、320×240
写真解像度(ピクセル)	3264×2448、2560×1920、1920×1080
視野角：水平	約49度
動画フォーマット	AVI
動画圧縮型式	M-JPEG
フレーム数	15FPS、30FPS
メモリ	microSDHCカード(32GBまで)※別売
消費電力	150mA+940mA
電源	単3乾電池 4本 ※別売
外部電源(USB)	5V1A
動作環境温度(結露なし)	60°～-20° 湿度90%未満(結露なきこと)
防塵防水	IP54
動作時間	連続待機約4ヶ月(乾電池使用時) ※録画時間・消費容量は電池性能・仕様・電源環境・撮影環境等によります。
本体サイズ(WxHxD、mm)	84×115×56mm
本体重量(g)	225g ※電池・SDカード除く
外装サイズ(WxHxD、mm)	140×95×107mm
付属品	本体・USBケーブル・取付ベルト・日本語説明書

※仕様および付属品は改良のため予告なく変更する場合があります。

microSDHCカード 32GB使用時の 保存時間の目安

動画解像度：ピクセル

動画	保存時間
1280×720	約4時間
640×480	約13時間
320×240	約27時間

写真解像度：ピクセル

写真	保存枚数
3264×2448	約8000枚
2560×1920	約1.4万枚
1920×1080	約5万枚

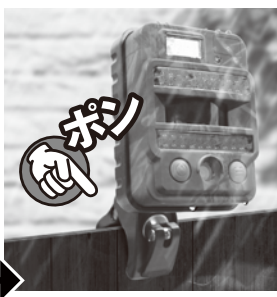
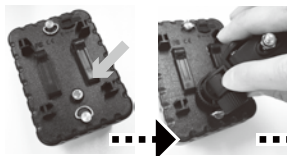
※時間、枚数は撮影環境によって異なります。

別売オプションパーツ

取付け金具クイックアーム

GS-CLP-01

裏面カバーの雲台用ネジ穴へ
取り付けるだけ!



グランシールド



アマゾン

本製品に関するお問い合わせ

⚠️ 不具合の際には必ず事前連絡をしてください。製品を一方的に送付頂いても受付できません。

株式会社ダイトク 〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷 4-8-6

サポートメール support@daitoku-p.co.jp

最新マニュアルはこちらへ

<http://www.glanshield.com/>

グランシールド▶



保証書&注意事項

製品保証書		■製品番号 TL-5900DTK
トレイルカメラ「Radiant Mini」ラディアントミニ		
お買い上げ日 (商品到着日)		
※お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	お電話番号	
販売店記載欄		製品保証期間 (お買い上げ日より) 1 年

領収書・納品書(コピー)添付欄

この製品保証書は右記の保証規約の内容で、無料修理をお約束するものです。

購入日と購入店が証明できるもの(販売店が発行する領収書・納品書・レシート等)を紛失された場合保証対象外となりますので、必ず大切に保管をお願いします。

保証規約

【1】保証期間について

- 保証期間は購入日より製品保証期間に表記された期間内とします。
- 修理後の保証期間は、交換によって対応させていただいた場合も含め、初回購入時の保証期間の満了日までとします。
- 保証の対象は、製品本体不良・付属品不良となります。
- 保証期間内における製品の不良・故障・欠品などが認められた場合、発売元の負担にて同製品または同等品の交換とさせていただきます。
- 誤品・欠品等の対応は保証期間内のみとなります。保証期間を超えての誤品・欠品等の対応につきましては、有償での対応とさせていただきます。(発売元への製品発送および返送費用はお客様ご負担となります。)

【2】保証適用除外事項について

- 次のような場合および事項については、保証期間内であっても保証の適用外とします。なお保証適用外の事由によって生じた製品の修理・交換に関しては、理由の如何にかかわらず有償修理対応となります。
- 商品購入日と購入店を証明できるもの(販売店が発行する領収書・納品書・レシート等)を紛失された場合。
 - 保証書を紛失・改竄された場合。保証受付の際に提示なき場合。本保証書に必要事項が明記されていない場合。
 - 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合。
 - 改造等の保証外動作を行った場合。
 - 製品運搬中の衝撃・振動等による故障・損傷の場合。
 - 落下や衝撃、強度の振動によって製品に故障または損傷が生じた場合。
 - 不良製品があった際、その不良部分につき発売元に申し出なく、自己で修正を試み他の製品に損害を与えた場合。
 - 製品不具合発生の原因が、火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等の外部的要因による場合。
 - 極端な高温または低温の過酷な環境下での使用において故障または損傷が生じた場合。
 - 日本国外で使用された場合。

【3】免責事項

- 製品の取り付け、取り外し及び交換工事費用等は保証対象外となります。
- 使用方法及び不具合の現地調査、立ち会い、出張点検、修理等是有償での対応となります。
- いかなる場合においても、内蔵メモリーまたはメモリーカード内に蓄積されたデータに関して、その保存および保持は一切保証いたしません。
- 輸送中における故障・損傷については、発売元は一切その責を負いません。
- 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、製品の使用、または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含む)に関しては、発売元では一切の責を負わないものとします。
- 製品および発売元サービスに関して、発売元の責に帰すべき事由によりお客様に損害が生じた場合には、発売元は製品のご購入代金を上限として、その損害賠償責任を負うものとします。但し、その損害賠償の範囲は、現実発生した直接かつ通常の損害に限るものとします。
- 付属ドライバ・ソフトウェアのインストール、操作方法、動作、内容、およびそれに準ずるお問い合わせに対しては、発売元はその対応義務を負わないものとします。

【瑕疵担保責任に関する特約】

商品に添付される保証書等の条件に従い、保証サービスが提供されます。保証書が添付されていない商品および保証書の条件が適用されない商品については、上記「保証期間」・「保証適用除外事項」のみの対応となるものとし、法律上の瑕疵担保責任の規定は適用されないものとします。